

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 — 2)

団体名	(一社)神戸健康大学	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 岡田 昌義
事業名	健康寿命延伸セミナーの実施		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
8月3日	レンタルスペース ジェム	32 (5)	健康寿命延伸セミナー 食中毒に備える 神戸大学准教授 大路 剛 先生 糖尿病患者の足を守る 新須磨病院 副院長 北野 育郎 先生 消化管腫瘍に対する内視鏡治療の実際と未来の内視鏡医療について 神戸大学特命准教授 森田 圭紀 先生
11月16日	宝塚ウェルネスアカデミー	30 (5)	健康寿命延伸セミナー 生き生きと自分らしく生きるための形成外科の役割 神戸大学教授 野村 正 先生 年齢にともなうカラダのお話と健康ストレッチ 機能訓練指導員 増田 倫子 先生 知っておこう、膵臓の病気 近畿大学名誉教授 竹山 宜典 先生

< 効果と成果 >

昨年後半より一般社団法人シニア・ライフ・パートナーズにセミナーの補助など業務の一部を依頼し、これまで以上に小回りの利く体制を整え、また同法人による集客にも効果が表れています。

コロナ以降縮小していた集客にも効果が表れ始めたということを踏まえ、今後もこの状態を維持していけば、更なる増員も見込めると考えております。

株式会社宝塚ウェルネスアカデミーとの連携により、これまでの医師の話だけではなくエンタメ性を含んだセミナーに変わりつつあります。

< 今後の展望 >

セミナー開催についての周知度が、特に神戸地域で不足しています。様々な団体との交流や、各種会合で告知を拡げ、認知を高める活動が続けることで地域の皆様が積極的に参加される体制づくりを進めて行きたいと考えています。

一方、オンラインでのセミナー開催の必要性を感じました。セミナーの内容については今後へ向けて認知症や予防医療についての要望がたくさんあることがアンケート結果に表れましたので、来年度のセミナーに反映していきたいと考えます。

神戸健康大学の認知をとるための作業も必要であると気づかされました。セミナー開催を告知しても、その主催者である神戸健康大学とはどういう団体なのかを、SNS等を活用して広めて行きたいと考えています。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	3 5 0 , 0 0 0
会費収入等	8 , 9 3 5
合 計	3 5 8 , 9 3 5

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	会場費	8 6 , 9 3 0	8 6 , 9 3 0
	講師謝礼	7 0 , 0 0 0	7 0 , 0 0 0
	チラシ印刷	6 , 9 3 6	6 , 9 3 6
	その他(チラシ郵送代等)	1 8 7 , 7 1 0	1 7 8 , 7 7 5
	小 計	3 5 1 , 5 7 6	3 4 2 , 6 4 1
間接経費(一般管理費)		7 , 3 5 9	7 , 3 5 9
合 計		3 5 8 , 9 3 5	3 5 0 , 0 0 0